

日本留学生の経験

タンペレ大学

レンポネン・アルファ

子どもの時から日本に旅行したかって、その夢はやっと実現しました。4月から8月までお茶の水女子大学を通うことができました。日本の寮に泊まることができ、日本の日常を感じました。このような機会があるのは想像もしないほど幸福でした。満足を感じながら、私の日本に着いた日をよく覚えています。

その日、私は電車に乗るか乗らないかに迷う時、慌てて転んでしまいました。その時、知らない人が私に声をかけて助けに来て、そして私の落ちた荷物を集まとめてくれました。電車から出て、大雨の天気になったので、私は濡れました。お茶大警備員は私の姿を見て傘を貸してくれました。そして寮で着いた時気づいて、私は寝具を買うこと忘れてしまいました。音羽館のスタッフは事情を理解して、必要な物を私に用意してくれました。私はこの人たちの優しさが日本文化の一つの表し方だと思います。



学校が始めて、着物、浴衣と書道クラスに参加できたのが幸せでした。特に初めての着物クラスが終わったすぐに、私はワクワクして浴衣を浅草から買いました。そして、日本にいる間に日本語の授業を受けられるのはとてもいい経験でした。先生たちは様々な形で私たちをサポートしました。いろいろな事情も教えてくれました。私は元々日本語能力試験のN3レベルが持っているが、今先生たちのおかげでN2レベルを目指す自信が持てるようになりました。



最後、私は国際課の皆様に感謝したいです。ビザの問題があって、私に手伝ってくれて感謝します。チューターの姫香さんはいつも私を助けて、いつも支えてくれたから、私は大変な時でも頑張ることができました。お茶タンDEMや日本語カフェの会った皆さんは楽しいイベントを作ってくれたことに感謝します。そしてフォーマルディナーに誘ってくれたみほさんにもお礼を言います。最後に私のバッグを褒めてくれて、話をかけてくれた人も感謝します。とても嬉しかったです。